

調査研究報告書

事業主体名	福島大学学生団体	電話	
代表者職氏名	代表 高田優花	ファクシミリ	なし
調査研究名	小高区における魅力発見およびコミュニティ再建に関する調査研究		

1 調査研究の実施概要

実施内容	<p>南相馬市の課題解決のために、以下の調査研究を実施しました。</p> <p>うんとイイトコ南相馬 Season 4 では、大きく分けて二つの活動を行った。まず一つが、「震災から 10 年が経とうとしている今（調査時）、南相馬市の住人は何を思うのか、今後どうなって欲しいのか」をテーマに住民の方々へ質問し、住民の方々の生の声を集め、市内外へ発信する活動である。そのために、南相馬市の小高区に調査範囲を絞り、住民の方々に聞き取り調査を複数回行った。また、調査時期が 12 月であり小高区では「あかりのファンタジーイルミネーション in おだか」が開催され街中がイルミネーションでライトアップされていた。そのため、その雰囲気合うように装飾品を模した画用紙へ現在の暮らしの評価と今後の要望を記入していただき、それをクリスマスツリー型のタペストリーに貼り付けることとした。この際、より生の声を届けるという目標に近づくために住民の方々には直筆で記入していただくことに拘った。また、南相馬の子供達には画用紙に自由に絵を描いてもらい、装飾の手伝いをしてもらった。これによって出来上がったクリスマスツリー型のタペストリーを福島大学学内や南相馬市内の施設に設置し、住民の方々の声を伝える活動をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン授業になってしまったこと、学外活動が制限されたことによってそれはかなわなかった。</p> <p>二つ目の活動は、SNS や郵便を利用して南相馬をテーマにした写真を集め、2021 年の南相馬カレンダーを作成するという活動である。この活動は、南相馬の素晴らしい景色や風景の写真を扱ってカレンダーを作成することで南相馬の魅力発見をしようという趣旨のもと発足した。まず、この活動を周知するために、写真を募集しているという旨のポスターを作成し、福島市や南相馬市を中心に掲示した。その結果、この活動では 500 枚以上の写真が集まり、その中から住民の方に 6 枚、主催者側が 6 枚の計 12 枚の写真を選定しカレンダーを作成した。その完成したカレンダーを写真の当選者やポスターを掲示した施設などに配布し、使用していただくこととした。住民の方々に手渡しでこのカレンダーを配布しようという計画もあったが、1 つ目の活動と同じ理由で今回その計画は見送ることとした。</p>		
調査研究費	総事業費		188,464 円
	うち補助対象経費		188,464 円
	補助金額		188,464 円
調査研究期間	令和 2 年 06 月 19 日～令和 3 年 03 月 23 日		

2 事業実施の成果

南相馬市の課題	<p>調査研究により、南相馬には未だに多くの人には知られていない素晴らしい魅力があることが判明した。しかし、南相馬の住民の方々からは「若い人達が南相馬に来て欲しい」「人口が増えて欲しい」といった現状を憂う声も聞こえてきていたことから、その素晴らしい魅力を外の人だけでなく南相馬市内の人々もその魅力を確認する必要がある、そのために魅力の更なる発信が必要である</p> <p>という状況が判明し、南相馬市の課題が明確になりました。</p>
課題解決の提言	<p>課題解決のためには、以下のような取り組みが必要とされます。</p> <p>まず、現在行っている魅力発信の方法に更なる工夫を凝らすことが必要であると考えます。また、その際にターゲットとして若い人達に焦点を当てる必要があると考えます。例えば、SNS の効率的な活用や若者の興味関心を惹くスポットやサービスの提供などである。しかし、住民の中には昔の南相馬に戻って欲しいという人や野馬追などの伝統的な行事を重んじる人もいるため、若者世代を集めることと伝統的な文化を共存させた方法で魅力発信をする必要があると考えます。</p>

3 添付書類 (内容が分かるもの) 成果報告書